

G空間EXPO 集客型は1月29～31日に東京ビッグサイトで

日本測量協会 会長

清水 英範氏に聞く



G空間EXPOは、地理空間情報高度活用社会（G空間社会）の実現に向けて広く一般の方々への普及とG空間関連産業の発展を目的に産学官が連携して、毎年開催されています。2020年はコロナ禍によりオンラインで開催し、21年からは会場を東京都立産業貿易センター浜松町館（東京都港区）に移してハイブリッド型で開催して大変好評を得ました。14回目となる本年は「G空間が織りなす豊かな社会へ」をテーマに、1月22日（水）から2月7日（金）までオンラインで開催するとともに、集客型は1月29日（水）～31日（金）に東京ビッグサイト（東京都江東区）において開催し、「防災産業展」「グリーンインフラ産業展」「国際宇宙産業展」「ISEX」との同時開催となります。（公社）日本測量協会（一社）全国測量設計業協会連合会（一社）日本測量機器工業会、（公財）日本測量調査技術協会の4団体が主催するG空間EXPOの中核イベントとなる地理空間情報フォーラムでは、企業・団体による展示、出展者セミナーなどを通して、日本のG空間社会を支える最先端の技術やサービス等を実地会場で紹介することも、企業・団体による動画や画像などをオンラインにおいても紹介いたします。出展分野は、航空・地上・UAV（無人航空機）レーザ、GNSS（全球測位衛星システム）や3次元関連、地理空間情報の活用事例やDX、最新技術など多岐にわたります。また、今年も国土地理院主催のGeoアクティビティコンテストの表彰式や、内閣官房主催の地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテスト「イチBizアワード」の発表・表彰式が同時開催されます。ハイブリッド型での開催により、参加者が自分の状況に合わせた参加方法を選べることができ、満足度が向上します。遠方からの参加者などは特にオンラインの選択も持つことで参加が容易になります。皆さまのG空間EXPO2025（<https://www.g-expo.jp>）へのアクセス及び展示会場への来場を心よりお待ちしております。



G空間EXPOのチラシ

1月22日～2月7日にオンラインで開催、多分野の最新技術を紹介

■G空間EXPO関連イベント■

□ステージプログラム
会場はメインステージ（南2ホール内）。定員300人。
【1月30日】
▷基調講演 旅が10倍楽しくなる！「地図ブラ」の魅力～NHK「プラタモリ」番組づくりの現場から～（午前10時30分～11時10分）
番組づくりの裏側でどのように地理空間情報が活用さ

れているのか？ NHK「プラタモリ」プロデューサーの吉田光志氏が旅ロケ番組の制作者の視点から、地図を片手にブラブラと旅したくなる「地図ブラ」の魅力を語る。
▷国交省・「建築・都市のDX」の現在地と将来像（午前11時30分～午後0時30分）
建築・都市のDXについて、国交省の住宅局、都市局、不動産・建設経済局で政策立案に携わる実務担当者が現状と将来像を紹介する。

▷PLATEAUが展望する都市デジタルツインの今後（午後3～5時）
これまで200以上の都市でデータが整備され、多様なユースケースを展開するPLATEAUが見据える都市デジタルツインの今後について、有識者による海外事例を含む講演とパネルディスカッションで伝える。
【1月31日】
▷「イチBizアワード2024」表彰式（午後0時50分～2時20分）

地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテスト「イチBizアワード」。アイデア、ビジネス、地域の3部門で優秀なアイデアを発表・表彰する。
▷表彰式「第1回国土交通省地理空間情報データチャレンジ～国土数値情報編～」（午後2時30分～3時）
データサイエンティストを対象にした国交省初のデータ分析コンペティション。モデリング、アイデア両部門の優秀者表彰式を行う。